

ボード会議経過報告書

新しい阿久根の物語がここからはじまる。

BEGINS! AKUNE!!



阿久根市
AKUNE City



・PRODUCT'S・
株式会社博報堂プロダクツ

AKUNE CITY BRANDING PROJECT



阿久根市
AKUNE City

包括連携協定に基づく取組（振り返り）

令和5年8月31日、阿久根市と(株)博報堂プロダクツは地域活性化包括連携協定を締結しました。



包括連携協定における5つのテーマ

- (1) 交流人口・関係人口・移住定住人口の維持・増加、出生率向上に関すること
- (2) 産業の振興に関すること
- (3) 住民サービスの向上に関すること
- (4) 上記を含む、**総合的ブランディング活動**
- (5) その他目的を達成するために必要な事項

包括連携協定によってもたらされるもの

シティ・ビジョンCity Vision
帰って来なくなる 行ってみたくなる 東シナ海の宝のまち あくね

住民調査/阿久根市の魅力再定義

阿久根市ブランドのコア・アイディア（コンセプト）設定

すべての施策を阿久根市ブランド・コア・アイディアに紐づけて
ブランディング活動。広く内外に広報/情報発信

産業振興/企業誘致/観光PR/移住定住促進/子育て環境整備
住民サービスの向上/ファンコミュニティ創設/財源確保策など

人口の社会増、自然増

関係人口・交流人口増



ファンの増加
働く人、ふるさと納税増
観光客増

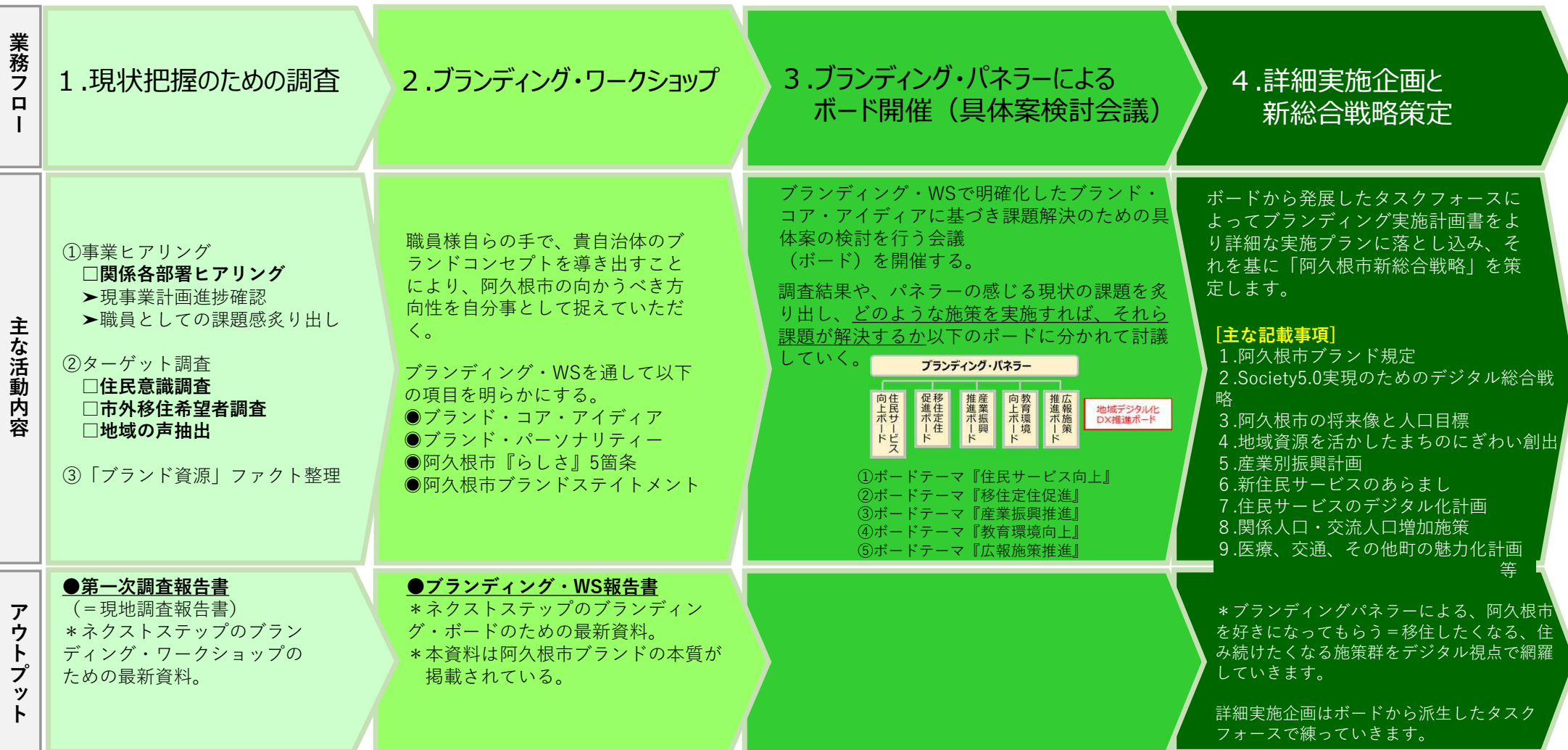
阿久根市
AKUNE City



人口流出削減
移住定住者増加、企業数増加
健康寿命向上、出生数増加

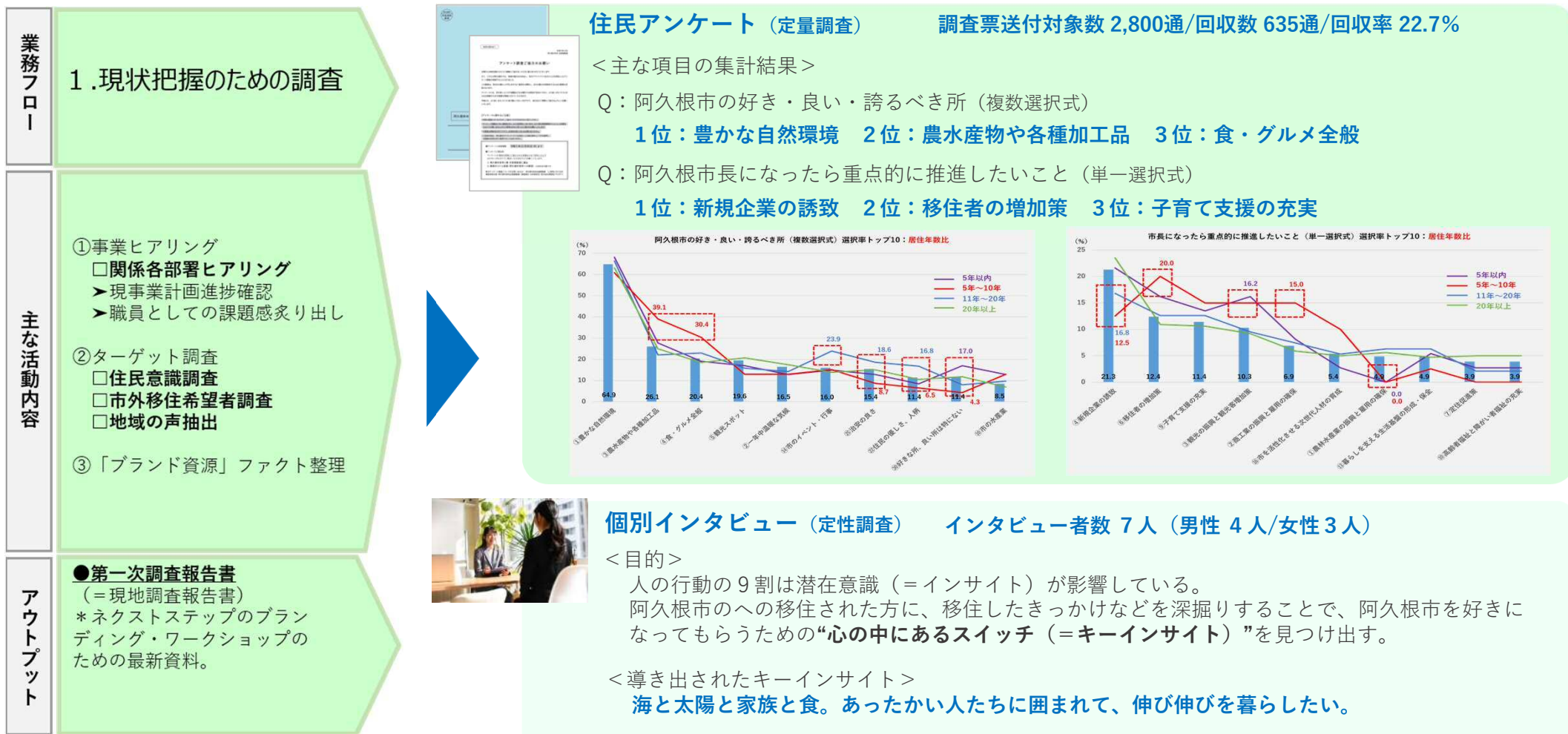
包括連携協定に基づく取組（振り返り）

ブランディングプロジェクト実施フロー



包括連携協定に基づく取組（振り返り）

プロジェクト推進のため、“1.現状把握のための調査”として、「関係課へのヒアリング」「住民アンケート（定量調査）」「移住者への個別インタビュー（定性調査）」を実施しました。



包括連携協定に基づく取組（振り返り）

次に、阿久根市が向かうべきブランディングの方向性を決定するため、特別職＋職員有志メンバーでワークショップを開催しました。

2.ブランディング・ワークショップ

職員様自らの手で、貴自治体のブランドコンセプトを導き出すことにより、阿久根市の向かうべき方向性を自分事として捉えていただく。

ブランディング・WSを通して以下の項目を明らかにする。

- ブランド・コア・アイディア
- ブランド・パーソナリティー
- 阿久根市『らしさ』5箇条
- 阿久根市ブランドステイトメント

●ブランディング・WS報告書

*ネクストステップのブランディング・ボードのための最新資料。

*本資料は阿久根市ブランドの本質が掲載されている。

ブランディング・ワークショップ（令和6年3月27日@風テラスあくね）



阿久根市ブランディング・コア・アイディア

**あなたの人生を、
抱きしめるまち。**

都会生活に疲れたら、戻っておいで。
会社員人生から離れたくなったら、訪ねておいで。

あなたを家族のように優しく迎え入れてくれる人がいます。

あなたが驚くような、美味しい自然の恵みがあります。

あなたが思わず涙する、海と太陽が包み込んでくれます。

東シナ海の大自然が、そこで育まれた文化が、
あなたのライフプランを支援する様々な制度が、
やさしく優しく、あなたの人生を抱きしめてくれますよ。



包括連携協定に基づく取組（ボード会議）

決定したブランディング・コア・アイディア「あなたの人生を抱きしめるまち」の実現に向け、現状の課題を洗い出した上で、どのような施策が必要かを分野ごとに議論していくため、職員有志メンバーによるボード会議を開催しています。

3.ブランディング・パネラーによる ボード開催（具体案検討会議）

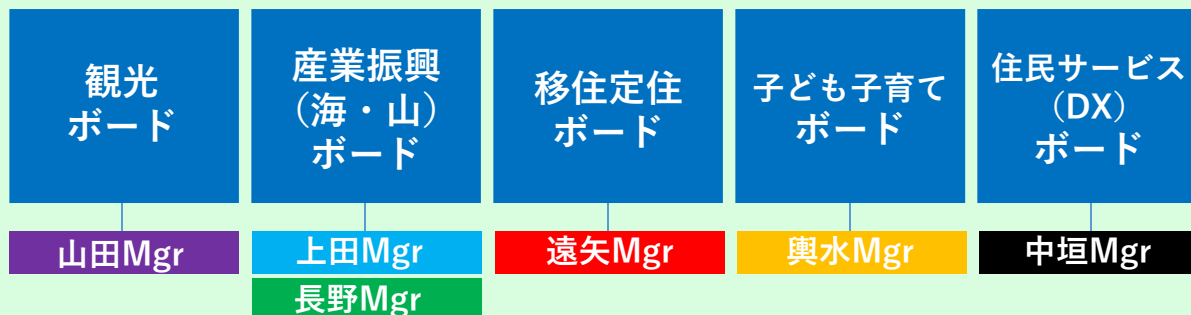
ブランディング・WSで明確化したブランド・コア・アイディアに基づき課題解決のための具体案の検討を行う会議（ボード）を開催する。

調査結果や、パネラーの感じる現状の課題を炙り出し、どのような施策を実施すれば、それら課題が解決するか以下のボードに分かれて討議していく。



- ①ボードテーマ『住民サービス向上』
- ②ボードテーマ『移住定住促進』
- ③ボードテーマ『産業振興推進』
- ④ボードテーマ『教育環境向上』
- ⑤ボードテーマ『広報施策推進』

ボード会議



<開催経過・予定>

第1回：オリエンテーション・課題抽出（6/20-21開催）

第2回：課題に対してあるべき理想像抽出（7/16-17開催）

第3回：課題と理想像の間にあるギャップを埋める具体的な方法について協議（8/22-23開催）

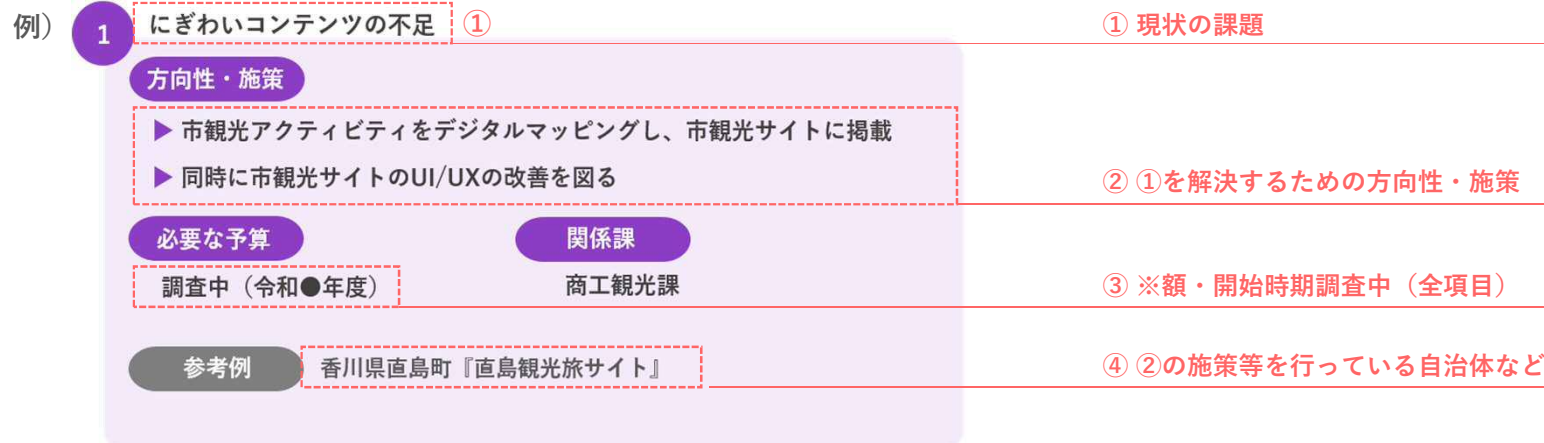
第4回：具体的な方法論について現実的な方法を見出し、実現可能な手法を導く（9/24-25開催）

第5回：実現までのロードマップ（工程表）作成と予算策定（10/28-29開催）

第6回：市長へのプレゼンテーション（12/11開催予定@風テラスあくね）

次頁以降、各ボードで洗い出した課題と、その課題を解決するための方向性・施策等を記載しています。
※「必要な予算」については、現在、その額と開始時期等を検討中のため、全項目『調査中（令和●年度）』と記載

これらに施策等については、令和7年度以降での予算化に向け、12/11（水）に一般公開の場で、市長・副市長・教育長へのプレゼンテーションを行うこととしております。



1

にぎわいコンテンツの不足

※ UI/UXの改善・・・HP等における視認性・操作性の向上

方向性・施策

▶ 市観光アクティビティをデジタルマッピングし、市観光サイトに掲載

▶ 同時に市観光サイトのUI/UXの改善を図る

必要な予算

調査中（令和●年度）

関係課

商工観光課

参考例

香川県直島町『直島観光旅サイト』

2

おもてなし力の向上

方向性・施策

▶ 飲食店向けに接客研修会・料理研修会を実施

▶ ホームページがない飲食店に対し、作成に要する費用を支援

必要な予算

調査中（令和●年度）

関係課

商工観光課

参考例

岡山県真庭市『UEDAVILLAGE（ウェダビレッジ）』

3

交通の利便性向上

方向性・施策

▶ 公用車のカーシェアリング
（契約形態：リース／平日は公用車・休日はレンタカー）

必要な予算

調査中（令和●年度）

関係課

商工観光課

参考例

山形県『公用車カーシェアリング事業』

4

観光情報の発信・PR不足

方向性・施策

▶ 事業者向けにSNS発信に関するセミナーを実施

▶ 外部人材の活用・専門部署の創設

必要な予算

調査中（令和●年度）

関係課

商工観光課

参考例

1

働き手・後継者の人材不足、収入の増加・安定化

方向性・施策

▶ 水産物の付加価値向上、外来船の誘致、養殖業への取組

▶ 農業繁忙期（収穫時期）における人材確保対策

必要な予算

調査中（令和●年度）

関係課

環境水産課、農政林務課

参考例

—

2

地域資源を活用しきれてない、強い商品のブランド育成

方向性・施策

▶ ハンターの育成、新たな事業化を目的としたジビエ肉のブランド化【EX：ジビエ肉祭りの開催】

必要な予算

調査中（令和●年度）

関係課

農政林務課、環境水産課

参考例

—

3

マーケティング・市外への情報発信のチームがない

方向性・施策

▶ 職員、地域おこし協力隊、地域活性化起業人等で編成した専門部署の設立（マーケティング人材・情報発信人材の確保）

▶ 情報発信力の強化を目的とした撮影・編集機材の購入

必要な予算

調査中（令和●年度）

関係課

総務課、商工観光課

参考例

—

4 若者・女性の起業（副業）を支援する仕組みがない、組織化できてない

方向性・施策

- ▶ チャレンジショップ制度の創設
- ▶ コミュニティカフェ（インキュベーター拠点）の設置
（副業案内所、異業種交流の促進）

必要な予算

調査中（令和●年度）

関係課

商工観光課

参考例

島根県松江市『チャレンジショップ事業費補助金』

5 新規企業の誘致

方向性・施策

- ▶ 住民アンケートで最も関心が高かった新規企業の誘致を推進するため、
現行の企業誘致関係の補助制度を拡充

必要な予算

調査中（令和●年度）

関係課

企画推進課

参考例

1

移住に関する情報発信不足

方向性・施策

▶ 移住に必要な情報の集約化

▶ 専門部署の創設。移住専門人材の登用

必要な予算

調査中（令和●年度）

関係課

企画推進課、商工観光課

参考例

鹿児島県鹿屋市『かのや移住サポートセンター』
新潟県佐渡市『佐渡UIターンインフォメーションセンター』

2

移住への受入体制が不十分

方向性・施策

▶ お試し移住施設の整備（住宅借上げor 空き家をリノベーション）

▶ お試し移住期間におけるレンタカー費用の補助

必要な予算

調査中（令和●年度）

関係課

企画推進課、都市建設課

参考例

鹿児島県肝付町『移住促進レンタカー補助金』
宮崎県日向市『移住促進レンタカー補助金』

3

まちづくりの意識が希薄

方向性・施策

▶ 「空き店舗バンク」の創設

▶ 重点エリアを定めたリノベーション

必要な予算

調査中（令和●年度）

関係課

企画推進課、都市建設課

参考例

鹿児島県伊佐市『空き家・空き店舗バンク』
鹿児島県霧島市『リノベーションまちづくり』
熊本県玉名市『まちなか未来プロジェクト』

1

地域コミュニティとのつながりが希薄

方向性・施策

- ▶ 郷土愛の醸成、地域の担い手育成を目的として、子どもたちと地域住民、地元企業等が関わる場を創出する。

必要な予算

調査中（令和●年度）

関係課

生涯学習課、学校教育課、
介護長寿課、商工観光課

参考例

鹿児島県教育委員会『かごしま地域学校協働活動』

2

スポーツ教育の充実

方向性・施策

- ▶ スポーツ（アーバンスポーツ）を通じた地域振興、魅力発信
【EX：－Skateboardのまち あくね－としてPR（番所丘公園）】

必要な予算

調査中（令和●年度）

関係課

スポーツ推進課、都市建設課

参考例

神奈川県横須賀市『うみかぜ公園』
大阪府松原市『スケートボードパークを核としたまちづくり事業』

3

子育て支援（人材・施設）の充実

方向性・施策

- ▶ 妊産婦へのタクシー利用料補助

必要な予算

調査中（令和●年度）

関係課

福祉課、こども保健課

参考例

千葉県松戸市『子育て世帯訪問支援事業（まるどりbabyヘルパー）』

4

親子・子ども同士で遊べる施設が少ない

方向性・施策

- ▶ 屋外バスケットコートを整備

必要な予算

調査中（令和●年度）

関係課

スポーツ推進課、環境水産課、
都市建設課

参考例

新潟県上越市
『クラウドファンディング「上越市に屋外バスケットを作ろう！」』

1

行政手続のスマート化

方向性・施策

▶ 自動窓口受付システム・申請書作成

必要な予算

調査中（令和●年度）

関係課

総務課、企画推進課、税務課、
市民課

参考例

行政システム株式会社『MAINAPIT－マイナピットー』
<https://www.gyosei-system.co.jp/products/mainapit>
株式会社PFU『顔認証付きカードリーダー Caora』
<https://www.pfu.ricoh.com/caora/healthcare/>

2

買い物支援

方向性・施策

▶ 買い物代行サービス

必要な予算

調査中（令和●年度）

関係課

企画推進課、介護長寿課、
こども保健課

参考例

青森県タクシー協会『おつかい代行』
群馬県高崎市『高齢者等買物代行業業』
『コロナ感染症等高齢者世帯買物SOSサービス事業』
徳島県美馬市『移動スーパーとくし丸（買い物支援事業補助金）』

3

ごみ出しの簡素化

方向性・施策

▶ AIによる自動分別ごみ箱設置

必要な予算

調査中（令和●年度）

関係課

環境水産課、介護長寿課

参考例

家庭用リサイクルマシン『Lasso』
<https://www.lassoloop.com/>

4

移動手段の確保①

方向性・施策

▶ 自動運転

必要な予算

調査中（令和●年度）

関係課

企画推進課

参考例

岐阜県岐阜市『自動運転バス「GIFU HEART BUS」』
福井県永平寺町『レベル4自動運転車両運行「ZEN drive」』

5

移動手段の確保②

方向性・施策

▶ 日本版ライドシェア

必要な予算

調査中（令和●年度）

関係課

企画推進課

参考例

富山県朝日町
『マイカーを活用した共助型公共交通「ノッカルあさひまち」』

6

オンライン診療

方向性・施策

▶ スマートスピーカーによる見守り・オンライン診療の促進

必要な予算

調査中（令和●年度）

関係課

企画推進課、こども保健課、
介護長寿課

参考例

愛媛県宇和島市
『スマートスピーカーを活用した高齢者見守り・オンライン診療』